

## 日本 CSO 協会 企業行動憲章

### 日本 CSO 協会企業行動憲章（序文）

我々 CSO 企業の使命は、医薬品・医療機器等の適正使用情報の提供に関連するソリューションの提供を通じ、パートナーである医薬品・医療機器等産業と協調しながら、人々の福祉と医療の向上に貢献し、社会共通の願いである健康で質の高い生活を実現する事にある。

この使命を全うするために、我々はより質の高いサービスの提供を目指し日々研鑽するとともに、社会構造の変革、生命科学と医療の発展、医薬品・医療機器等産業の環境変化に対応すべく、常に革新的なサービスの開発を追求しなければならない。

また、近年、企業の社会的責任（CSR）への取り組みが注目されている。企業も社会の一員として、高い倫理観をもってその社会的責任を果たし、良き企業市民として誠実に行動し、信頼と共感を得る存在であらねばならない。

この基本認識の下、我々は次のような社会的要請に応じていく。

- ◇ 我々の企業活動の先には、常に疾患の克服に向け日々闘う患者さんが存在する。我々の提供するサービスは、「患者さんの役に立つこと」がその最終目標であると期待されている。
- ◇ 医薬品・医療機器等産業という人の生命、身体、健康に関わる産業へサービスを提供する我々は、高い倫理観、正確かつ十分な知識、高度なスキルを有するプロフェッショナルな人材の集団であることが求められている。
- ◇ 少子高齢化が進む中、質の高い医療に対する期待が高まっていると同時に、医療費の高騰を抑制すべく効率の良い医療が求められている。我々の提供するサービスも高品質で高効率なものであることが期待されている。

### 日本 CSO 協会企業行動憲章

1. 患者さん中心の医療に資することを常に意識し、医薬品・医療機器等産業の真のパートナーとして、医薬品の適正使用情報の提供に関連する革新的で高品質なソリューションを提供する。医薬品・医療機器等産業において多種多様化するニーズに対応すべく、提供するサービスの質の向上に常に取り組み、医薬品・医療機器等の適正な使用・普及を推進し、良質な医療と健やかな未来（あした）に貢献する。
2. 進歩し続ける医療に対応し、医療チームの一員として認められるよう、日々研鑽を続けていく。変化の激しい現代社会において企業が成長し続けるために、主体的に考え、行動する人材の育成を図るとともに、自ら学び成長しようとする従業員に対

し、制度や環境の整備など積極的な支援を行う。

3. 高度 ICT（情報通信技術）社会の一員として、個人情報保護に十分配慮し、社内体制の構築、従業員等への教育など、万全な対策を行う。また、企業活動上入手した、取引先企業・医療施設等の機密情報についても保護・管理を徹底する。
4. 今後ますます高度多様化するニーズに対応し、公正な競争を通じて付加価値を向上させ、市場規模拡大とともに新しい雇用環境を創出し、経済社会の発展に貢献する。
5. 従業員の多様性・人格・個性を尊重するとともに、安全で働きがいのある労働環境を確保し、ゆとりと豊かさを実現する。
6. 人類共通の課題である環境問題への取り組みは企業の存在と活動にとっても必須の要件であることを認識し、企業活動が環境に及ぼす影響に対し、主体的に行動する。
7. 社会とともに歩む「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。
8. 公正、透明および自由な競争ならびに適正な取引を行うとともに、政治や行政を含めた全てのステークホルダーと健全かつ正常な関係を保つ。
9. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、関係遮断を徹底する。
10. 経営者は、本憲章を率先垂範の上、社内に徹底するとともに取引先にもこれを促す。また、実行にあたっては効果的な社内体制の整備を行う。
11. 本憲章に反するような事態が発生したときには、経営者自らが問題解決にあたり、原因究明および再発防止に努める。また、社会への迅速かつ的確な説明責任を遂行し、権限と責任を明確にした上で自らを含めて厳正な処分を行う。

以上

（沿革）

2012年2月20日

策定・発効

2016年1月5日

様式変更・法令名称修正